

第71回平和美術展を成功させるために

今、戦争か平和かの岐路にあります。綱引きのようなもので、平和を願う私たちがちょっと力を緩めると一気に戦争への道へ暴走します。平和を願い創作している友人に平和美術展の魅力を伝えて、出品を呼びかけましょう。会場でお会いできることを楽しみにしています。

吉田巳蔵さんから交代いたしました。

事務局長 桐生明夫 練馬区下石神井 2-17-4

PC akio.kiryu@gmail.com

携帯 080 6501 9325 電話 03-3995-9604

(事務局の連絡先が変わりました)



「雨降って地固まる」ごとく美術家平和会議は総会において、新たな事務局長に桐生明夫さんが選出されました。第一回運営委員会、実行委員会では望月秀峯さんが第71回平和美術展実行委員長に選ばれ、激動の時代に対応する体制がつくられました。

皆さんの制作状況はいかがでしょう。前事務局長の吉田巳蔵さんも煩雑な事務局作業を補佐しながら体調を整えつつ71回展に備えています。

問題は、全体の高齢化が進むなかコロナの影響もあり出品数も、会員数も下降線をたどっています。第71回展は心機一転、一人が一人以上の出品者を募り大運動を巻き起こすことが求められる状況にあります。老若男女を問わず会員の推薦も意識的に行う事が必要です。会員同士の連帯感を深めるとともに、一人ひとりが平和美術展の組織を大きくする意識を高めることは、制作意欲を高めることと表裏一体のものです。71回展は“平和を守る出品者拡大・大運動平和美術展”とする意気込みでとりくむ情勢にあります。平和が脅かされ続ける現代、平和美術展の存在価値はますます高まっています。 (副事務局長・葎塚作次) 090-3471-0902

第71回平和美術展成功にむけて

第71回実行委員長・望月秀峯

第71回平和美術展実行委員長を担当することになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

スローガン「平和の壁に花一輪を」これは平和美術展創立当初の出品者の、戦争を憎み平和を願う思いの中から生まれたものです。出品者には、悲惨な戦場での体験や不自由な戦時の生活を体験した方が少なくなかったからです。

戦争する国家に命を捧げることを美德とする教育の中で、若者たちが花びらのように命を散らしていった時代でした。その命の犠牲の上に築いた平和憲法の下、二度と戦争をしてはならないと、平和を願う出品者の方々の力が今日の平和を守ってきたと思います。

「平和の壁に花一輪を」は、犠牲者への安らぎと非戦への誓いがこめられています。その歴史を引き継ぎ、美術活動を通して次の世代に平和の大切さを伝えましょう。たくさんの友達に出品を呼びかけていただきたいと思います。

出品された作品から、ジャンルを超えて共有する美を楽しみ、共感し、感性と表現能力を築きあい創造的な制作に発展させていきましょう。そして皆様と一緒に平和美術展会場に大輪の輪をさかせましょう。



マンガは宇野靖之さんです。(第70回展実行委員長)

「美術と平和」ゆっくりと読ませていただきました。作品と作者の意図を合わせて絵画、書に見入りました。どの作品も平和を前面に押し出して世界の危機への対応に深く関わるとしています。表現することも難しく苦手な私には尊敬の念しかありません。これから出来ることで協力させてください。

塩島 洋子

紙上展覧会(美術と平和)とても素晴らしいです。実物を見られた方もこの二重での展覧会の鑑賞。このような立派な編集をなさる方々に感謝と尊敬をいたします。毎年この機関誌を楽しみにしています。

和田桃代

平和美術展に行くことができなかった私はこの「美術と平和」の機関誌に掲載のどの作品にも釘づけになりました。特に一番感激させられたのは、本橋草世さんの「折り鶴からのメッセージ」でした。この作品を実物で見たかった。私は拡大鏡を使用して「機関誌」から見ることでできました。パワーコーナーで本橋さんの「メッセージ」も深く感動させられました。

秋田美智

・・・過日は記念集のご送付まことにありがとうございました。編集に携われた方々のご苦勞を謝しながら拝見いたしました。七十周年記念美術展が盛大に開催されたこと心より喜び申し上げます。コロナ収まらぬ中、それぞれの表現思いをアピールされた作品群に深い感銘をうけました。来館された方々の心にも深く響いたことでしょう。今なお続く悲惨な紛争の平和的解決の方向を一顧だにせず軍拡路線をひた走るこの国の為政者達に怒り心頭です。新しい戦前との警告も浮上してきた今、私達は現実の問題として認識せねばと思えます。

九十年代半ばとなり不調の日々も多くなりましたが手足の続く間は出来るだけ宣伝などに参加しております。

今夏の開催日もすでに決定し吉田巴蔵様には休息される間のなぐい多忙が続くとぞんじます。くれぐれもご自愛ください。まよひ心よりお祈り申し上げます。

宇治市 後藤 文子

秋田美智さんは知人の塩島洋子さん。和田桃代さんに「美術と平和」を送呈し、感想文の便りをいただいた秋田さんが「平和美術展だより」に投稿されたものです。ありがとうございました。「美術と平和」を有効に活用した能力をますます發揮してください。

また、宇治市の後藤文子さんの便りは前事務局長の吉田巴蔵さんの所に送られたものです。紹介の要請がありましたのでご案内いたします。いずれの皆さんの文章も私たちに勇気をあたえ激励される貴重な内容です。とりわけ後藤さんには「90代半ばになり・・・出来るだけ宣伝などに参加しております」。この言葉に激励されない人はいないでしょう。

ご意見。ご要望は桐生明夫事務局長まで。(連絡先は一面掲載)

「平和美術展だより」文責・葎塚作次 ([メールアドレス kz_niratsuka@msn.com](mailto:kz_niratsuka@msn.com))